

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和4年6月10日

作成者：堀切公子

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

＊この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
NPO 法人芦屋ワールドピース倶楽部	
事業名	日時（期間）、場所
コンサート開催	令和3年10月29日 13時～16時 アルカディアホール（芦屋市）
内容（実績）＊実施したことを具体的に	受益者数
・芦屋の生んだ世界的有名な音楽家、貴志康一について、詳しく説明した ・素晴らしい演奏で、心から癒やされた ・家から外へ出にくい人たちを、誘って送迎して、楽しんでもらった ・コロナの終息を願って、のコンサートなので、その収益を、社会福祉協議会に託した ・コロナで演奏活動が少なくなっている地域の音楽家達の、援助をした ・DVDを作り、コンサートに行けなかった人にも配り、名演奏を楽しんでもらった	(130)人
	参加者数
	(130)人
成果（社会へのインパクト）＊どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・コロナでこもりがちな人々を招待して、名演奏を楽しんでもらって元気を出してもらった。 ・芦屋の生んだ早くしてこの世を去った大音楽家を紹介すると共に、その功績をたたえた ・チャリティーコンサートなので、その収益を社会福祉のために使って頂くことが出来た ・地域の音楽家達と協力して、多くの人々に感動を与えることが出来た ・コロナ終息を願う心が集結出来て、これからの生活を充実させようと誓い合った	
今後の展望（どのように継続、発展するか）	

- ・今年ルナホールにおいて、芦屋市制 80 周年を記念して、ミュージカルを開催する
- ・芦屋市誕生から、文化都市芦屋にふさわしい各分野の有名人、特に谷崎潤一郎の細雪をテーマに、現在までの 80 年を振り返る
- ・ちょうど、理事長が芦屋市と同じ誕生なので、80 歳の理事長の奉仕活動の一生を振り返ると同時に、現在の NPO 法人芦屋ワールドピース倶楽部の活動の一端を紹介する
- ・今後の芦屋市の更なる発展を祈り、一人でも多くの人が、楽しく明るく生活が出来るよう、積極的に活動する計画である
- ・特に、高齢者のケアに注目し、フレイル予防として、ヨガ、ピラティス、軽い運動
楽しい会話、美味しい食事、等を提供する。
- ・一人暮らしのあらゆる相談、援助の紹介、等、幅広く多くの人に寄り添う
- ・コーラス、元気の出る歌、フラ、日本舞踊、社交ダンス、書道、麻雀など、色々な教室で、楽しく学び、その後は、美味しいランチ、お茶、等を頂きながら、歓談する
- ・コロナが落ち着いたら、旅行、演劇鑑賞などをして親交を深める
- ・色々な、イベントを計画する。誕生日会、施設訪問、等